

飯山市子ども議会開催結果

「飯山市第5次総合計画 後期基本計画」の策定にあたり、飯山市子ども議会を7月31日に開催し、市の事業・施策に対して小学生や中学生が考える意見・提言、質問を出していただき、足立市長が答弁を行いました。

市内小中学校の代表11名が行った一般質問では、小中学生ならではの視点から市の現状を鋭くとらえ、後期基本計画を策定するうえで重要な意見を得られました。

下記は、各子ども議会議員の質問内容や、足立市長の答弁内容の要約となります。

記

質問順1 飯山駅前に遊具のある公園を造ってほしい

岡田 秀一郎 議員（飯山小）

◆質問

ぼくたち飯山小学校からは、駅前に遊具のある公園を造ることをお願いします。理由は5つあります。

- ①飯山の中心におもしろい遊具がある公園があると、子どもたちが集まって元気になるから
- ②飯山市の人だけでなく他の県から観光に来た人も集まれる場所になるから
- ③観光で駅を利用する人が、時間に余裕がある時に遊ぶことができるから
- ④買い物などのついでに公園で遊ぶことができるから
- ⑤放課後に友だちと遊ぶ場所が増え、いろいろな学年の子どもたちが集まって一緒に遊べば、とても楽しくなるから

きっと駅前に遊具のある公園があると、飯山に観光に訪れる人が増え、飯山がより元気になると思います。

■答弁

飯山駅は飯山の玄関口、飯山の顔となる場所で、多くの方々が様々な目的で利用します。この方々が、飯山駅前を起点として、いろいろなところに、移動していただけたらと考えています。

駅前の公園などに遊具があれば、岡田議員のご意見のとおり、きっといいと思いますが、飯山の魅力を外の方々に伝えることをまず一番に、考えて行きたいと思います。

その上で、駅前やあるいは飯山の街中に、相応しい遊具などが考えられるとすれば、検討して行きたいと思います。

質問順2 とんぼの里公園に、遊具を設置したらどうか

江口 玄泰 議員（秋津小）

◆質問

ぼくたち秋津小6年生は、以前キャンプの飯ごうすいさんの練習で、とんぼの里を利用しました。その時に、良い場所なのに利用者がいないという意見がありました。今回、どのようにすれば人が集まるのかをテーマに、とんぼの里がどのような場所かくわしく調べ、利用者の数や、実際に利用した人がどんな活動をしていたかなどを調べました。

他の公園と、とんぼの里公園との違いは、遊具がたくさんあるかどうかということがわかりました。そこで、足立市長へ質問です。とんぼの里公園に、遊具を設置するのはどうでしょうか。きっと人が集まる楽しい公園になると思います。

■答弁

飯山市にも、遊具のある公園は実はいくつかあります。長峰スポーツ公園ちびっこ広場や、城山公園、新町児童公園などです。長峰スポーツ公園や城山公園は、今年、来年と順次、遊具を新しくする工事を行いますので、たくさん利用してください。

とんぼの里公園は、遊具で遊ぶというよりも、自然に触れ合いながら遊んでいただきたい公園として整備されました。ぜひ、自然の地形などを利用した遊び方を、皆で工夫してみてください。そうは言っても、ちょっとした遊具があった方が面白いと、みんなが思うのなら、公園を管理してくれている『地域の方々』に相談してみてください。とんぼの里公園は、お父さんやお母さん、そして地域の方々が一生懸命管理している地域の公園です。管理している方々と相談され、皆さんの希望と一致したら市役所に相談に来てください。お手伝いできるものについては、喜んでお手伝いいたします。

質問順3 冬の事故を防ぐためには

丸山 瑠稀 議員（泉台小）

◆質問

昨年の冬、除雪作業等による事故が相次ぎました。その内容は、家庭用除雪機によるものや、屋根の上の雪おろしによるもの等です。中でも除雪機の事故を防ぐには、①二人以上で除雪機をあつかうこと、②市民に呼びかけること、が大切だと思います。呼びかける例は、チラシなどで。各家庭に一枚ずつ配布すれば、危険性を少しでも知ってもらえると思います。

私はこの二つによって、事故の件数を減らし、危険性を知ってもらえると考えました。市で考えている対策はありますか。

■答弁

除雪作業による事故は毎年発生しており、今年は屋根の雪下ろし中の事故が6件ありました。内5件は、屋根からの転落によるものです。

また、2件の除雪機による事故が発生しており、いずれも除雪機の回転している部分に接触した事故です。

ご指摘の事故防止に関する対策ですが、毎年市報に「除雪作業事故防止10箇条」を掲載しているほか、ホームページや、iネットの広報番組でも事故防止を啓発しています。

この10箇条は、除雪作業中の事故を防止するための対策を示したもので、屋根からの落下を防止するための対策、除雪機による事故防止対策などがあります。

また、市報やホームページのほかにも、降雪があった際などには、随時、防災無線で除雪事故の防止について呼びかけを行っております。今後も、事故防止10箇条を広く周知し、啓発に努めてまいります。

質問順4 住み心地のよい未来の飯山市を目指して

池田 彩乃 議員（常盤小）

◆質問

常盤には、常盤田んぼや常盤ぼうき、常盤ごぼうなど地域の宝がたくさんあります。こうした宝を管理したり、作ったりしている人は全て地域のお年寄りです。特に常盤ぼうきや常盤ごぼうは生産者の高齢化に伴い、後継者がいないことが大きな問題です。一つ目の質問は「飯山市は高齢化に伴い、きれいな景色が保たれなくなること、農業や伝統的な産業がなくなっていってしまうことについてどのような対策を考えているのでしょうか」です。もう一つ提案と質問があり

ます。総合的な学習の時間に私たちは公民館に出向いてお年寄りと何度か交流をしました。二つ目の質問は「一人暮らしの方や、なかなか外出することができない方が人とつながって生きがいをもって生活できるようにするために市ではどのような方法を考えていますか」です。地域でお年寄りを守ったり、自分からお年寄りと関わろうとする気持ちをもったりすることが必要だと思います。

■答弁

農業は、高齢化と後継者不足が問題となっているため、市では、若い人や定年した人などの新しく農業を始める人を募集したり、新しく始めた人には補助金を交付して応援しています。

また、東京や大阪でイベントに参加して、飯山のおいしい農産物を販売したりして、飯山の農業のPRもするなど、美しい飯山の景色を保ったり、おいしいお米や野菜、きのこができる飯山の農業をなくならないようにしています。

集落サロンでの、お年寄りとの交流、ありがとうございました。さて、お年寄りが生きがいを感じて生活するには、人と人との心のつながりが大切だとのことご意見は、まったくそのとおりです。地域との交流がある人は、お元気に過ごされ長生きされていると、様々な調査の結果から言われます。そのために、飯山市においても、地域の身近な人との交流のために各区を中心に集落サロンを開催しています。その他の取り組みをお話しますと、①講演会や趣味の会の開催、各種趣味・講座など様々な活動を行っており高齢者の生きがいと憩いの場の提供等を行っています。②少しお身体が弱くなり、外出するのが困難になった時は、車で送迎を行い介護予防教室等に参加していただいています。③さらに、お身体がかなり弱くなり動けなくなった時は、訪問介護員や看護師による入浴介助や治療の補助、デイサービスによりできるだけ身体を動かしたり人との交流をしていただいています。

池田議員さんが言われるように地域でお年寄りを守っていこう、関わっていこうという気持ちは大切です。多くの人に、そのように感じてお年寄りと接していただければ飯山市に住む、お年寄りは幸せだと思います。また、集落サロン等において皆さんのように積極的に交流をしていただけることを今後とも期待しております。

質問順5 全学校にタブレット導入を

太田 柚月 議員（木島小）

◆質問

木島小学校には、去年50台のタブレットを入れていただきました。私たちはこのタブレットを色々な学習に利用してきました。

今年は、歴史新聞作りでワードを使ったり、児童会の集会でパワーポイントを使ったりしています。このように、私たちの学校では、グループで話し合うとき、学習のまとめをするとき、さらにまとめの発表をするときにタブレットを使っています。

タブレットを使うと、いろいろなことを調べたり、まとめが簡単にできたりします。タブレットを使った勉強はおもしろいし、頭も使うので将来とても役に立つと思いました。だから、市内の他の学校でも、取り入れたらどうでしょうか。

■答弁

木島小学校でのタブレットを使った授業は素晴らしいですね。タブレットの「スイッチの入れ方」に始まり、パワーポイントやワードなど「ソフトの使い方」など使い始めたころは戸惑いませんでしたか。今では、タブレットを使いこなし、多くの学習に役立っていると思います。タブレットでの学習がきっかけで、勉強に興味を持ち、勉強することが好きになってもらうことが私たちの一番の目的や願いです。

ご質問ですが、今年の2学期には、常盤・戸狩・東小学校の3つの学校に、来年度には残りの

秋津・飯山・泉台小学校の3つの学校にタブレットを購入し、校舎内にインターネットと繋がる環境を整備するなど、順次計画的に他の小学校にも導入する予定です。

タブレットの操作を怖がることなく、どんどん使ってください。そして勉強を好きになってください。

質問順6 飯山市の医療・福祉について

吉越 咲喜 議員（東小）

◆質問

以前おばあちゃんやお父さんの具合が悪い時、飯山日赤に問い合わせてみましたが、診察できないということで、北信病院まで行きました。お母さんは、「遠くて大変だった。」と話していました。

私たちの地域は雪がたくさん降るため、特に冬は病院へ行くだけでも大変です。近くの病院で早く診てもらえれば安心につながると思います。赤ちゃんからお年寄りまで、安心して暮らしていけるには、医療の充実が大切だと思います。

そこで、飯山市の大きな病院である飯山日赤の充実を希望するのですが、飯山市はどのように考えているのか教えてください。また、医療に関して、どのような対策があるのかも教えてください。

■答弁

赤ちゃんからお年寄りまで安心して飯山で暮らすには、医療の充実が大切ということは誰もが感じていることです。なぜ、飯山日赤では診ていただけないかを考えますと、1番には医師の不足が考えられます。もう一つの理由は、一部の専門的診療科目では、広い範囲で病院連携して北信病院等で専門の救急治療に当たっている場合もあります。

飯山日赤の充実について、飯山市では、①病院長と一緒に大学病院などに行き、医師が飯山日赤に来ていただけるようお願いに行っています。②学生さんのために奨学金制度を設け、医師になって飯山に来ていただけるような仕組みを作っています。③病院経営の安定化や医師確保・救急医療充実のための費用支援を行っています。皆さんが、飯山市で安心して暮らせるように、飯山で住んでみたいと思う人が増えるよう、医療や福祉の充実を今後とも推進していきたいと思えます。

質問順7 観光事業に関する提案

高橋 くるみ 議員（戸狩小）

◆質問

私は、飯山市と言えば「雪」というイメージが強くあります。雪をきっかけに、観光客が増えたらいいなあと考えました。この飯山の雪の魅力を市外、県外の人に知ってもらうために、一つの提案として、冬の時期に行われる催し物や、魅力をまとめたパンフレットを作成するのはどうでしょうか。雪を見たことがない外国の方、日本でも雪が降らない地域の方だったら、美しい景色に興味をもっていただけ、これをきっかけに、飯山に移住されることも考えられ、飯山の人口増加にもつながると思います。

このようなきっかけから、観光客や新幹線の利用の増加が予想されますが、新幹線を降りた後、移動がしにくいと思います。レンタカーを利用されるかもしれませんが、雪道の場合、慣れていないので危険です。そこで二つ目の提案です。「飯山雪国案内人」といったようなガイド組織を作り、観光客の送迎や、ガイドなどのサービスをしてはどうでしょうか。専門のガイドさんがお

世話をすることで、充実した旅行をしていただけたと思います。

また、三つ目の提案として、「長期滞在型プラン」を作るのはどうでしょうか。日本は、他の国と比べて長い休みが少なく長期滞在が難しいので、外国の方のほうがより長く滞在していただけたと思います。ですから、外国への宣伝に重点を置くことで、より多くの人に訪れていただけたのではないのでしょうか。

■答弁

高橋議員の言われるとおり、飯山市の観光は、豊富な雪を活用したスキー場を中心に発展してきました。その後、スキーだけでなく雪と親しみ楽しめるイベントとして、多くのイベントを開催し、多くのお客さまにお越しいただいています。雪を見たことがない外国の方、日本でも雪が降らない地域の方に、飯山の美しい景色や豊富な雪を知ってもらえれば、さらに多くの方に来ていただけたと思います。議員からご提案いただいた冬の催し物や、雪の魅力をまとめたパンフレットを作成し、そしてインターネットを活用し、海外の方にも飯山の魅力を伝えられるよう動画の配信にも力を入れていきたいと思っています。

また、このような情報発信により、雪や自然豊かな地域に住みたいという方の移住にも繋がると思います。二つ目のご提案の「飯山雪国案内人」ですが、たいへん素晴らしいアイデアをいただきました。春から秋にかけては、町中を案内していただくガイドさんはおりますが、冬のガイドさんはおりません。議員の言われるとおり、冬の移動は雪に慣れていない方には負担となります。専門のガイドさん、またはタクシーの運転手さんにガイドを兼務していただくシステム作りをしていきたいと思っています。

三つ目のご提案にお答えします。議員ご提案の長期滞在が出来るようになれば、豪雪飯山を満喫していただくことができます。長期滞在が主流の外国人旅行客をさらに誘客するために、インターネットなどを活用し素晴らしい飯山の風景、体験などを発信し、さらに来ていただいた方が世界に紹介していただくことができるよう取り組んで参ります。

質問順 8 飯山の雪対策と魅力の発信

岩崎 陸 議員（城南中）

◆質問

最近、県外から移住しようと考えている方が、区長である父のところに相談に来られました。その方が父に「飯山の雪の量はどのくらいか」と質問されたそうです。父は「雪の量はすごく多いですから、家の周りをきれいに除雪するには、自家用の除雪機を持たないと大変ですよ」と答えたそうです。やはり移住には雪を心配されている方もいらっしゃる事が分かりました。そこで、雪の問題で、具体的に取り組まれている市民への配慮などを教えていただきたいと思っています。

また、雪が他県の人たちからどのような印象を持たれているのかということについてもお聞きしたいと思っています。僕たちはあまり市外へ出る機会がなく、飯山の冬の様子がどのように他県に伝わっているのかということを知りたいと思っています。

■答弁

インターネット等で情報を発信する中、飯山市に興味を持っていただいた方には、個別に飯山市について説明を行い、理解を深めていただいております。当然その時、雪がたくさん降る地域であることなどを話し、その上で飯山市への移住を進めております。

飯山市の魅力は、豪雪を含めて四季がはっきりしているところです。厳しい冬を乗り越えて、暖かい春を迎えることができる喜びや、除雪業者を中心に、地元の皆さんの協力を得て、飯山市は素晴らしい除雪体制が整っていることを伝えていきます。

また冬には、市民の皆さんの努力で雪まつりやかまくら祭り、また各種スキー大会などが開催され、豪雪に負けない飯山市を県内の皆さんにアピールしています。

雪においては、いろいろとハンディはありますが、移住を希望される方はおおむね好意的にとらえていらっしゃると思います。若いときにスキーに来たことがあるなど、情報もたくさんお持ちです。

また、飯山の美味しいアスパラやお米などは有名ですが、工芸品などは、あまり知られているとはいえません。志賀高原や野沢温泉などはご存知ですから、こういった観光エリア『信越自然郷』の一つとして飯山があるという説明を行っています。

除雪については、夜中の2時に起きて機械の準備をし、3時から作業に取り掛かっています。そうした中でも、除雪基地での暖機運転等の騒音については周辺住民に配慮したり、家々の玄関先に雪が残らないように極力注意して除雪をしています。

飯山市の除雪は日本一です。雪の大変さはありますが、雪国として誇れる日本一のまちです。

質問順9 飯山市の観光事業について

福澤 実久里 議員（城北中）

◆質問

私は今回こども議会に参加するにあたり、観光客を増やすにはどうしたらいいか観光事業について考え、三つのことを思いつきました。

一つ目は、野生動物を利用して、野生動物の動物園をつくったら良いのではないかと思います。さらに、その動物たちのジビエ料理を提供したり、加工販売できる施設があったらいいと思います。二つ目は、それらの施設を利用してイベントと組み合わせた、新幹線またはバスなどを使ったツアーをつくれればいいと思います。三つ目は、飯山の豊かでおいしい水をもっとたくさんの人に利用してもらうことです。天然水をお店やインターネットで販売し、おいしさを知ってもらうことができれば、飯山の産業発展につながると思います。

最後に質問ですが、皆さんは冬以外の季節に観光客を増やすために、どのような方法があると考えていますか。

■答弁

3つのご提案をいただき、ありがとうございます。野生動物の動物園、ジビエ料理。料理やイベントを組み合わせたツアー開催。日光雪清水など飯山のおいしい水の販売をすることにより、飯山市のPR、そして外からのお客が増え、飯山の発展につながるものと思います。

ご質問の春・夏・秋の季節に観光客を増やす方法についてお答えします。飯山市は、全体的に見ると冬の観光客が多く、春から秋については少ない状況です。春から秋をもっと増やし、年間を通して大勢の観光客に来ていただけることが理想と考えています。

北陸新幹線飯山駅が開業してからは海外からの観光客も増えています。今はインターネットで簡単に情報発信できるようになりました。素晴らしい飯山の風景、おいしい食べ物などを発信することで、日本から世界から大勢の人が季節を問わず、一年中訪れていただけたらと思います。

質問順10 飯山駅の活用または、飯山駅前のまちづくりについて

江口 恵一 議員（城北中）

◆質問

北陸新幹線ができて、多くの人々の生活が変わってきていると思いますが、人口は年々減少してきています。人口を増加していけるようにしてほしいと思う中で、私が考えていることを2つほどお話しします。

1つ目は、新幹線を利用して通勤・通学することです。そうすれば人口も減らず、飯山に居住することを考えている方にも「自然豊かな飯山」をアピールすることができると思ったからです。

もう1つは、駅前に飲食店などを増やすことです。そしてそこをメイン通りとして、朝市などイベントを開いたりするのもよいと思います。そうすれば観光の方も多く来てくれると思います。

■答弁

飯山駅前にお店を増やすという取り組みについては、駅前のにぎわいを創出するという一方で、新幹線が開通する前から取り組んできたものです。7月から、駅前の空き地で「若者会議」の皆さんが「ターミナル飯山」というお試しのお店を出しています。市としても努力していきますが、皆さんのような若い方たちからも飯山市をよくするために、どんどん提案していただければと思います。

飯山駅交流センターで、大画面のディスプレイを用いて、信越自然郷エリアの情報を写真、動画などにより人目を引くような内容で紹介をしています。ポスターやパンフレットなども、たいへん重要な情報発信手段ですので、インパクトがあり、そして飯山市を知っていただける・興味をもっていただけるようなものを作製しまして、市内をはじめ広く掲示して自然飯山市をPRして参りたいと考えています。そうすることで「自然豊かな飯山」を広く知っていただき、飯山市に住んでいただくことで、新幹線による通勤・通学につながると思っています。

今、個人でもスマートフォンで簡単に情報発信できる時代になりました。飯山の素晴らしい風景や美味しい農産物、特産品などの情報を、写真、動画などで伝えていただけると、とても有効なPRになると思います。皆さんからもお力を貸していただきたいと思っています。

質問順 11 若い人が増える飯山へ

高橋 幸桜子 議員（城南中）

◆質問

今、飯山市は少子高齢化が進み、人口も減少しています。そこで、市外に出て行かない若い人たちが増えるために、若い人たちが気軽に集まれる場所があればいいと思います。このような場所があれば、若い人も飯山へ遊びに来られるし、若い人も増えるのではないかと思います。

そこで提案です。都会にある、若い人たちが立ち寄りそうなお店を、飯山に招致してみたらどうでしょうか。そうすることで、今流行しているものが身近で手に入り、飯山で買い物をする若い人が増えると思います。また、飯山駅構内に飯山をPRしたお土産屋さんや飯山の食材を使った駅弁などがあっていいと思います。長野駅や東京駅などの観光客がたくさん訪れている駅の構内には、たくさんのお土産屋さんや駅弁屋さんがあり、駅の構内はにぎわっています。そんな駅のように、お土産屋さんや駅弁などがあれば、飯山駅構内も観光客でにぎわい、ますます発展していくと思います。

■答弁

これまでは工場や会社の誘致活動をしてきましたが、若い人向きのお店についても誘致できるか検討したいと思います。

飯山の食材を使った駅弁として、3年ほど前に新幹線の開業に合わせて、駅弁コンテストを開催し、最優秀賞などを決定しましたが、製造の問題、売れなかった時のことなども考えた販売の問題などがあり、「飯山駅の駅弁」ということで販売することはできませんでした。

ただ、最近は駅の売店で飯山名物の笹寿司のお弁当が販売されるなど、状況も変わってきております。JRや飯山駅の皆さんなどとも相談しながら、地元食材を使った駅弁の販売などについて検討していきたいと思っています。

また、飯山をPRしたお土産屋さんについても、市内のお菓子店の皆さんなどと相談していきたいと思っています。